

八高線鉄橋から日生団地方面
昭和37年ごろ（匿名）

現在、県道飯能寄居線バイパスが開通し、自動車は通行止めになった八高線の鉄橋からの風景です。昭和37年ごろの写真には、今ではあまり見られなくなった桑の木らしき畑が見えます。現在は桑の木はありませんが、変わらず畑の広がるのどかな長瀬地内の風景です。



現在の風景

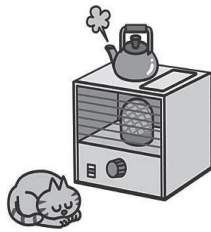
募集中

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。ご提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

暖房

皆さんのお宅の暖房は何をお使いですか？ 最近ではさまざまなタイプの暖房器具が販売されています。地域性もあると思いますが、毛呂山町の場合は朝晩が冷え始める11月初旬から使い始めるご家庭が多いと聞きます。「新しい家で気密性が高く、保温効率が良いため、エアコンでも充分暖かく過ごせる」「赤ちゃんのために空気がよごれないものを」など、住宅の様式や家族構成にあった暖房をお使いのことと思います。



温暖化防止による化石燃料の使用控えや、電力不足は、暖房の選択にも影響しています。住宅の仕様が対応できるのなら、暖炉や薪ストーブなどに興味のある人も多いのではないのでしょうか。ゆっくり燃える炎を眺めれば、ゆったりとした時間が過ごせそうな気がします。

日本での昔ながらの暖房は、こたつや火鉢といったところでしょうか。今ではなかなか見ることのない囲炉裏は、煮炊きをしながら暖をとれるものでした。いずれも、気密性の低い日本の家屋に合っていましたが、体の一部のみが暖まるものであるため、部屋の中でも厚着で過ごさなければなりません。

それに比べて、今は薄くて暖かい優れた衣服を着て、部屋全体が温まる暖房を使っている私たち。これからますます寒い日が続きますが、家族が暖かい1部屋に集まり、一家団らの時間を多くすることで、電気・ガス・灯油代の節約や環境を守ることに繋がります。暖房で心も体も暖かくお過ごしください。

編集後記

「キラリ輝いています」でご紹介した牧野さんとお会いして、地域の皆さんや家族に感謝する心に触れました。それが幸せと元気の源であることを人生の大先輩の姿から学んだ気がします。(O)

□広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。

わがやのアイドル



齋藤 秀伍くん

(5歳5か月)

齋藤 佑成くん

(2歳11か月)

元気いっぱい!! 笑

顔いっぱい!! 楽しさ

いっぱい!! いっぱいけんかもするけれど、いつまでもこの子供らしさを忘れずに、大きくなっていってね。



森川 海良ちゃん

(4歳5か月)

3姉妹の末っ子で、ちよっぴり甘えん坊さんだけど、毎日笑顔で家族皆をいやしてくれています。元気に大きくなってね!

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。

申・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112内線332

人口 35,834人(-51人)

【男17,860人(-28人) 女17,974人(-23人)】

世帯 15,622戸(-16戸)

※平成25年1月1日現在(カッコ)内は前月比